ビタミンC60バイオリサーチ

来年2月にモイストフラーレン刷新で フラーレン全原料の植物由来化を実現

フラーレン化粧品原料「ラーレンN」（自然由来指数1：ISO16128に基づく）を発売した。

そして10月には、フラーレン化粧品原料で売上No.1の「ラジカルスポンジ」（水溶性フラーレン）をはじめ、メーク製品に配合化粧品原料として、100%植物由来のエイジングケア原料「リポフェールフラーレン」、サンケア専用の「サンガードフラーレン」、ヘアケア専用の「ヘアシャイニーフラーレン」に配合するフラーレンを植物由来フラーレンに切り替え、リニューアル発売した。

植物由来フラーレンは、高い抗酸化力や有効性において従来のフラーレンと同等の機能性を持ち、同じように処方が可能なうえ、「ナチュラル」「サステナブル」対応原料としても訴求できる。

「ナチュラルで高機能、かつ環境にも配慮したサステナビリティな原料として高く評価され、植物由来フラーレンを配合した原料はリニューアル以降、いずれも受注が好調に推移している。来年2月には、浸透型リポソームの『モイストフラーレン』をリニューアルし、当社が展開するフラーレン化粧品原料全てが植物由来フラーレンに切り替わる。来年は植物由来フラーレンのPRと拡販に邁進し、『フラーレン＝植物由来』を定着させていきたい」（林源太郎社長）

輸入原料では、即効性の高い抗シワ原料「Neosome EM Ultrafill」（アメリカ・NEXTHIA社）と、自己発泡する新感覚原料「AEコスモフロー61&76」（アメリカ・AE Chemie社）の引き合いが高まっている。

Neosome EM Ultrafillは、浸透性に優れた天然由来保湿成分であるベタインとトレハロースをカプセル化し、角層より奥に深く浸透することで肌のハリや弾力を高めるという。

AEコスモフロー61&76は、泡立てずに塗るだけでシルクのようなきめ細かな泡が発生するユニークな原料で、クレンジングなどの洗浄料を中心に受注を伸ばしている。